

《 清 川 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月10日（水） 午後4時から（会 場：台東リバーサイドスポーツセンター）

◇告知用ポスターについて

質問	回答	対応
<p>町内の掲示板に掲示するよう、月2回台東区から要請があるポスターについてですが、ポスターの種類も多く、掲示板の面積に限りがあるので、全て掲示することができません。</p> <p>また、紙質的にも雨風に耐えられないものもあり、掲示板が汚らしく見えることもあります。紙質・大きさ・枚数など、本当に周知したいのか甚だ疑問と言わざるを得ません。周知の優先順位付や紙質・枚数等考慮の上、製作・配付をお願いします。</p>	<p>町会の掲示板は区民の皆さまへの周知手段として重要な役割を果たしています。</p> <p>ポスターについては、サイズをB3までに限定することや、区の後援のない外部の事業は受け付けないなどの対応を行っています。</p> <p>イベントの多い時期などには枚数が多くなることもあるので、今後、改めて周知の必要性を熟慮し、雨風に耐えられる紙を使用してまいります。</p>	◇

◇ふるさと納税について

質問	回答	対応
<p>コロナ禍の中、地場産業（皮革関連等）は低迷しています。また、観光産業も世界的なパンデミックの中、インバウンドの需要もまだ何年かかるか分からない状況です。</p> <p>お隣の墨田区では、ふるさと納税を通じて、ものづくりの街の魅力発信等で良い結果が出ているように思われます。</p> <p>そこで、台東区でも地場産業（靴・革小物等）・伝統工芸品・観光文化（博物館・美術館・動物園等）・老舗（お菓子・料理店）のコロナ後の起爆剤にふるさと納税が寄与できればと思っています。台東区でも取り入れていただけないでしょうか。</p>	<p>返礼品を活用したふるさと納税については、10月20日より43事業者、185件の返礼品を民間のサイトへ掲載し、受付を開始しました。</p> <p>返礼品については、区内事業者のご協力により、地場産品や伝統工芸品、観光文化体験等、台東区の魅力を伝えられる返礼品があります。</p> <p>今後もふるさと納税を活用した区のPRや産業支援、及び地域経済の活性化を図ってまいります。</p>	○

◇町会定例会資料ペーパーレス化について

質問	回答	対応
<p>毎月の地区町連の定例会における区からのお知らせのプリントや資料が多く、その保存に苦慮していますが、後日必要が生じた場合のことを考えると容易に破棄できません。</p> <p>区ホームページにおける清川地区町会連合会のページから議題・資料・連絡事項等を見ることができればありがたいです。セキュリティ等の問題点等もあると思いますが、資料のペーパーレス化についてご検討をお願いします。</p> <p>例えば、定例会の会議資料をスクリーンで説明し、手元の資料は希望でプリントアウト、またはタブレットやスマートフォンに出力できると良いと思います。</p>	<p>区役所の業務において、文書の電子化や電子決裁を進め、ペーパーレスを推進しているところです。</p> <p>台東区町会連合会においても、9月からの定例会の会議資料を電子化しました。電子化した資料は、メール等でお渡しができますので、清川分室にご相談いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、今年度、東京都では「地域の底力発展事業助成」などの支援事業において、デジタル活用支援を始めましたのでご活用いただければと思います。</p>	—

◇マンション住民の町会参画について

質問	回答	対応
<p>現在、区内でもマンションの新築工事が多数見受けられます。清川地区でもこの数年で非常に増えています。</p> <p>町会活動においては、高齢化が進み将来が思いやられます。これからは、マンションの住民の方の協力なしでは運営できないと思います。マンション住民の地域参画に対する政策を強く打ち出す施策をお聞かせください。</p> <p>また、事業者との協議については、建てる前の事業者だけではなく、建てた後に変更になったマンションについても、区で対応してほしいです。</p>	<p>区では、「集合住宅の建築及び管理に関する条例」に基づき、10戸以上の集合住宅を建築する事業者に対して、町会加入について町会と事前に協議をするよう依頼しています。さらに、町会の重要性の理解を促し、町会加入について協力を求めるとともに、消極的な場合には再検討していただけるよう依頼をしています。</p> <p>そのほか、町会の活動を広く周知するため、区公式ホームページに各町会を紹介するページや、新たに転入された方々が、自分がどこの町会なのかが分かるようなページの作成を進めています。</p> <p>また、11月3日には防災をテーマにワークショップを開催し、町会と集合住宅居住者との連携強化をどのように進めていけるかを検討しました。</p> <p>さらに、令和3年度よりアドバイザーの派遣を行い、集合住宅居住者だけでなく、町会活動への関心や参加を促進するための取り組みを進めています。</p> <p>区としては、引き続き集合住宅居住者に対する加入促進にも努めてまいります。</p> <p>【区民部長】 マンションを建てた後の事業者についても今後対応してまいります。</p>	<p>—</p>

◇山下清 生誕100周年について

質問	回答	対応
<p>ちぎり紙細工やペン画で有名な山下清さんは、1922年（大正11年）に浅草区田中町（現在の台東区日本堤）で生まれ、幼少期には石浜小学校に通い、この清川地区で過ごしました。そして、来年2022年には生誕100周年を迎えます。</p> <p>そこで生誕100周年を記念して、台東区が生んだ芸術家としてイベントや記念館（例えば、たなかスポーツプラザ内に記念館または記念室のようなもの）などができると、地域も一層活気づくと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>山下清さんは、その作品の素晴らしさだけでなく、映画やテレビドラマなどを通じて描かれる人物像が多くの人々に知られ、愛されている方であると思います。</p> <p>国内には実際に居住された場所など、創作に関わる様々な所縁の地が存在し、長野県茅野市や大分県由布市には作品を常設展示する美術館がございます。</p> <p>今後、山下さんが区内に居住された当時の生家や区内における作品等資料の所在など、本区との所縁について調査していきたいと思えます。</p> <p>※地域の方からの情報提供や図書等の資料を調査した結果、区内の生家の所在や通学した学校等について、確証は得られませんでした。石浜小学校に一定期間通学されていたものと推定されるため、機会をとらえて校内で周知していただくよう、学校にお願いしました。（文化振興課・庶務課）</p>	<p>○</p>